

地域密着型サービス評価の自己評価票

( 部分は外部評価との共通評価項目です)

↑ 取り組んでいきたい項目

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている		
2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる		
3	家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる		
2. 地域との支えあい			
4	隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄りしてもらえるような日常的なつきあいができるように努めている		
5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている		運営推進委員の老人クラブ会長などを通し、今後老人クラブの参加を検討していきたい。

[千葉県] グループホーム だるまさん

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	地元中学校の職場体験の受け入れにより、夏祭りや餅つき大会などで中学生との交流会、地域サークル活動の披露の場の提供などを行っている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	外部評価を受けることで、スタッフ全員が日頃のケアを振り返る機会となり、評価結果を踏まえ、サービスの見直し・質の向上にむけて改善に取り組んでいる。		
8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議の場を通じ、利用者やサービスの実施状況を見て頂くと共に、ホームの取り組みなどを伝え、参加者から意見を聞き、サービスの質の向上に努めている。		
9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	施設長は、市町村の介護保険運営協議会委員、また千葉県グループホーム連絡会の役員や第6ブロック長としても市町村との連携を取っている。又、記録の書き方や接遇マナーなどの研修に取り組み介護の質の向上やサービスの向上に努めている。		
10	権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	現在、必要対象者がいない為、外部研修にて学んだり職員各自に任せている。		職員全員が正しい知識を身につける必要がある。昨年は、研修を受けた職員により勉強会を行ったが、今年度は今後検討していきたい。
11	虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	拘束廃止研修などで学ぶ機会を設け、職員に周知すると共に、利用者の心身の変化にすぐ気づけるよう職員同士がコミュニケーションを図りながら、虐待の無いよう注意を払っている。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制			
12	<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>契約の際は重要事項説明書・契約書を用いて説明し、ご家族と十分な話し合いを行い、理解・納得を図っている。</p>	
13	<p>運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>特別な機会を設けてはいないが、日々のコミュニケーションの中で、意見や不満等を聞くよう心掛けている。また、ご利用者の独り言にも耳を傾け、ケア等の改善に努めている。</p>	<p>今回の運営推進会議において委員と利用者の皆が、お茶をしながら話し合いの場を設け、その後の意見交換会により利用者の意見等について話し合いを行う。</p>
14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>家族会を定期的に行なったり、毎月担当者から写真入りの手紙にて報告している。なお、ご家族来所時には日頃の様子などを担当者または管理者から伝えているが、緊急時には、その都度電話連絡を行なっている。</p>	
15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>苦情・相談窓口を設置している他、玄関には意見箱を設置している。なお、家族会の中でも意見が出しやすい雰囲気作りを心掛けている。</p>	<p>近隣、家族へのパソコン教室を開催し、それに参加している家族もあり親睦を深めている。</p>
16	<p>運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>毎月行なわれるカンファレンス等に施設長も参加し、職員の意見を聞いて頂いている。また、年に2回、施設長との面談があり、随時相談できる関係ができています。</p>	
17	<p>柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p>	<p>事前に確認できる予定については、当日の勤務者を増員するように務めている。また、急な場合も出来る限りの調整を行ない、対応に努めている。</p>	
18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>認知症の人にとって環境の変化は少ない方が好ましいことを理解しているため、異動や離職を必要最小限に抑えるように努力している。</p>	

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援				
19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	外部研修は、積極的に参加を促し、ホーム内では内部研修または自主勉強会を行い、日常的に学ぶ機会を設けている。		職員のスキルアップが図れるよう、段階に応じた研修が出来るようにしたい。
20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	GH連絡会の中で、他事業所の職員との交流の場を設け親睦を深めたり、互いの施設見学などで、サービスの向上に努めている。		
21	職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	ホーム内に職員の相談窓口を設けている。また、職員での親睦会を定期的に行なっている。なお、希望休や有給を入れ、ストレスの解消を図っている。又、年に1回外部保健婦による健康相談を行っている。		
22	向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	年に2回の施設長との面談の中で、個々の実績を評価し、自己効力感が高まるように助言を受けている。		
安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応				
23	初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	義家族から相談を受けたら、必ず本人と面接を行い、ADL面だけでなく、不安や困っていることについてもアセスメントを取り、本人の状態や希望に添った支援が出来るよう、職員間で話し合い、模索している。		
24	初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	電話での相談や来訪された場合等、ご家族の話聞き、本人や家族の状況、不安や悩みなどご家族の思いを受け止めることが出来るよう心掛けている。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
25	<p>初期対応の見極めと支援</p> <p>相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>ご本人の能力や希望、ご家族の希望を聞き、その時の最良の方法は何か、様々なサービスの利用を含め、一緒に考えるようにしている。</p>		<p>長期海外出張家族があり、海外との連絡も取れるようにしたり、その家族以外とも連絡が取れるように信頼関係を築いている。</p>
26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>入居前には可能な限り、ご本人に来所して頂き、ホームを見て頂くようにしている。また、ショートステイを利用しながら徐々に雰囲気に馴染んで頂くことを勧めている。</p>		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>職員は、認知症を正しく理解する事に努め、ひとりひとりでできる事、できない事を見極めながら、ご本人が活躍できるよう支援をしている。また、日常生活の中でご利用者と職員が共同生活者として支えあう関係ができています。</p>		
28	<p>本人を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>ご家族とのコミュニケーションを大切にし、イベント時には声をかけ、参加できる方には参加して頂けるよう働きかけている。</p>		
29	<p>本人と家族のよりよい関係に向けた支援</p> <p>これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している</p>	<p>今までの家族関係に配慮しながら、ご本人とご家族のより良い関係が継続または築けるよう努めている。</p>		<p>家族自らが、ハーモニカ演奏や家族が所属しているボランティア団体と共に民謡、三味線、太鼓演奏で訪問してくれている。</p>
30	<p>馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>面会のほか、ご家族に協力して頂きながら、馴染みの環境(人・物など)の継続に努めている。</p>		
31	<p>利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている</p>	<p>利用者同士のお互いを思いやる気持ちを大切にし、利用者間で支えあうことが出来るよう場面に応じて支援している。</p>		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
32	関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	長期入院などは、見舞いを継続し、出来る限り関わりを持つように努めている。		
. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
1. 一人ひとりの把握				
33	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	センター方式のアセスメントを使用し、職員が日々の生活の中で、一人ひとりの思いを聞くように努め、支援を模索し実施している。		
34	これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	本人から話を聞いたり、ご家族から情報を頂いたりしながら、ご本人の今までの暮らし方の把握に努めている。		
35	暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	心身状態の把握を日々の記録に残すほか、できる事・できない事など日々変わる本人の状態変化を職員間で話し合うようにしている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	職員一人ひとりの意見が反映されるよう、カンファレンスにて話し合っている。ご家族には個々に口頭で説明し、意見を聞いているも、意見は少ない。		本人やご家族の希望を反映する工夫が必要。
37	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	4ヶ月に1度の見直しのほかに状態が変化した場合には、プラン変更を適時に行っている。		利用者の状況にあった適時の介護計画作成を継続して行っていく。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の記録はもとより、職員間で情報を共有するためのノートを用い、介護計画の見直しに活かすようにしている。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
39	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	常に化する要望に対し、事業所の他職種の職員からアドバイスを受けながら柔軟な支援を心掛けている。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	行事に中学生の協力を頂いたり、数多くのボランティアに支えられている。また、消防については定期的な防災訓練や救命講習での協力を得ている。		
41	他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	ご本人の希望があれば、併設のデイサービスを利用するなど支援を行っている。		
42	地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	今年、4月に地域包括支援センターが立ち上がったが、適応する事例がなく情報交換のみになっている。		必要に応じて、行ってきたい。
43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	定期的にご本人及びご家族の希望のかかりつけ医に受診している。ご家族対応の場合は、時々、職員も立ち合わせて頂き、医師との関係を築けるよう努めている。		

【千葉県】グループホーム だるまさん

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
44	認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	必要に応じ、受診や相談を行っている。		
45	看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	併設のデイサービスの看護師に日常的にみて頂いている為、気軽に相談でき、24時間連絡できる体制ができている。		看護師やかかりつけ医と連携を図りながら利用者の体調管理を今後も継続していく。
46	早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	病院の看護師や医師と情報交換を行いながら、ご家族と早期退院に向け相談をしている。また、退院後の対応など適時に話し合いを設けている。		
47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	ご家族と連絡を密に取り、早い段階で入院を含めた話し合いをご家族と一緒にかかりつけ医に相談している。		
48	重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	ご家族、医療関係者、職員で話し合い、できることとできないことを明確にした上で、利用者がよりよく暮らせるよう支援に取り組んでいる。		
49	住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	様々な理由や事情により退去される場合には、ご家族に情報を提供し、その後のご本人の生活に役立てて頂けるように努めている。(介護サマリー等)		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
・その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
1. その人らしい暮らしの支援			
(1) 一人ひとりの尊重			
50	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>個人情報の取り扱いについては、書面にて同意書を取り交わしている。職員は、ご利用者に対し、プライバシーに配慮した声掛けを行うようにしている。</p>	
51	<p>利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている</p>	<p>いくつかの選択肢を用意し、個々に確認したり、一人ひとりに合わせた声掛けを行い、自己決定を大切にしている。</p>	
52	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>ご本人のペースで生活できるよう支援している。また、一人ひとりの特技や特徴を毎日の生活に活かせるよう努めている。</p>	
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
53	<p>身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている</p>	<p>髪型や服装、化粧など個々の好みを大切に、買い物などの外出支援を行っている。</p>	
54	<p>食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者 と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>一人ひとりのできる力を発揮して頂きながら、準備や片づけを行っている。また、食べたい時に食べたいものを提供できるよう心掛けている。</p>	<p>月1回は外食を利用し、外食の雰囲気を楽しみながら食事を楽しむことを行っている。また、庭で旬の野菜を栽培、収穫し利用している。</p>
55	<p>本人の嗜好の支援</p> <p>本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している</p>	<p>ご家族、かかりつけ医と相談の上、ご本人の希望が叶うよう支援している。(お酒やおやつなど)</p>	

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
56	<p>気持よい排泄の支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している</p>	<p>個々の排泄表から、パターンの把握に努めている。排泄の誘導・介助時には、ご本人の羞恥心、プライバシーに配慮している。</p>		
57	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>	<p>利用者の状態や勤務形態上などの理由から、入浴時間帯に制限があるが、夜間入浴も可能とし、一人ひとりのペースに合わせた入浴支援を心掛けている。</p>		
58	<p>安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々々の状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している</p>	<p>個々にあった安眠や休息が取れるように支援している。なお、定期的なシーツ類の洗濯や、気候に応じた室温調整などの環境整備にも努めている。</p>		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
59	<p>役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p>	<p>ご本人の持っている力や得意分野が発揮できるように、場面場面で促しを行い、生き甲斐に繋がるよう支援している。</p>		
60	<p>お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>基本的にお小遣いはホームで管理しているが、日常の買い物では利用者の能力に応じて、支払いが出来るよう支援している。小額のみ、ご家族同意の上、自己管理している利用者もいる。</p>		
61	<p>日常的な外出支援</p> <p>事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している</p>	<p>ほぼ毎日、散歩を行い、1日1回は戸外に出かけられるように支援している。</p>		
62	<p>普段行けない場所への外出支援</p> <p>一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している</p>	<p>毎年、初詣や花見、定期的に行われる公民館での演芸会などの外出支援をしている。また、利用者によっては法事や自宅への外泊など、ご家族の協力が得られている。</p>		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
63	電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	希望時には、電話をされている。また、誕生日などご家族から贈り物が届いた際は、本人が談話できるよう個別に支援を行っている。		
64	家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	面会時間を設定せず、自由に来訪できる雰囲気作りを心掛けている。		
(4) 安心と安全を支える支援				
65	身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束廃止研修受講者が内部研修等で全職員に周知しているため、拘束をせずに安全を保障する方法を模索しながら、支援している。		
66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	階段を下りる際に、危険が考えられる為、センサーを設置しているも、玄関は開放されている。		利用者が一人でも安心して外へ出られるよう、近所との協力体制を作っていきたい。
67	利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	常にリビングに職員がいるようにし、止むを得ず離れる場合等には、職員間で声を掛け合うようにしている。なお適時、利用者の所在・安全安否の確認を行い、事故のないよう配慮している。		
68	注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	危険な物をただ排除するのではなく、職員の見守りのあるところで管理をしたり、一人ひとりの能力や状態に合わせて対処するように心掛けている。		
69	事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	ヒヤリハット報告書を作成し、再発防止の為、その都度職員間で話し合いをもち、職員に周知するよう努めている。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
70	急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	定期的に救急救命講習を受講しているほか、内部研修などで基本的な知識等を確認するようにしている。		
71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	定期的に消防訓練、避難訓練を実施している(夜間想定 of 避難訓練も実施)。 4月に地域の方々の協力で自主防災組織が立ち上がり地域の協力体制が強化された。		地域の方々により良い関係作りをしていく
72	リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	現状を普段から理解して頂けるよう働きかけ、利用者の変化が生じた際もきちんと説明を行い、ご本人の自由な暮らしの支援を継続できるよう話し合っている。		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
73	体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	毎日バイタルチェックを行い、体調の変化時は看護師と相談し、速やかに医療機関と連携が取れるよう努めている。		
74	服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服薬一覧表を作成し、個々の服薬状況の把握に努めている。また、利用者にあった服薬の支援を行い、症状の変化にも気を配っている。		
75	便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	下剤だけに頼らず、牛乳や野菜ジュースを勧めたり、水分補給や適度な運動を行い、便秘予防に心掛けている。		
76	口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	口腔衛生に十分配慮し、義歯の洗浄、うがいの促しなど、毎食後に個々の状態に合わせた支援を行っている。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
77	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>食事量の確認を行い、必要に応じて水分量の確認も行う。また、毎月体重測定を行い、急激な変化に気を配っている。</p>		
78	<p>感染症予防</p> <p>感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）</p>	<p>感染症対策マニュアルを作成し、外出後や食事前には、ご利用者のうがい・手洗いを実施している。また、手すりやドアノブの消毒も実施している。</p>		
79	<p>食材の管理</p> <p>食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている</p>	<p>賞味期限の管理、家族の持込などに注意を行っている。また、調理器具等についてもこまめに漂白を行っている。</p>		
<p>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</p> <p>(1) 居心地のよい環境づくり</p>				
80	<p>安心して出入りできる玄関まわりの工夫</p> <p>利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている</p>	<p>手作りの看板をかけ、プランターに花を植えたりし、雰囲気作りに心掛けている。</p>		
81	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>天井が高いため、自然の光を取り入れやすく圧迫感がない。長い廊下には、利用者の写真や作品等を飾り、安心できる環境作りに努めている。</p>		
82	<p>共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>ハード面で困難な面もあるが、所々にソファや椅子を設置し、自由に過せる居場所の工夫を行っている。</p>		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	使い慣れた家具や身の回り品を持ち込んで頂いたり、フローリングに畳を敷くなど、ご本人の今までの生活を大切にしている。		
84	換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のだよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	定期的に換気を行いながら、外気温と大きな差がないよう室温調整を行っている。		
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
85	身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	手すりの設置や杖を使用している方には、椅子に杖を立掛けられるように工夫している。		
86	わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	居室の入り口には表札をかけたリ、暦のほかに手作りの日めくりカレンダーを設置している。		
87	建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	家庭菜園を行っている。また、外でお茶などもできるようテーブルなども設置している。		

. サービスの成果に関する項目		最も近い選択肢の左欄に をつけてください。	
項 目			
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	ほぼ全ての利用者の	
		利用者の2/3くらいの	
		利用者の1/3くらいの	
		ほとんど掴んでいない	
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	毎日ある	
		数日に1回程度ある	
		たまにある	
		ほとんどない	
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
94	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	ほぼ全ての家族と	
		家族の2/3くらいと	
		家族の1/3くらいと	
		ほとんどできていない	

【千葉県】グループホーム だるまさん

項 目		最も近い選択肢の左欄に をつけてください。	
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	ほぼ毎日のように	
		数日に1回程度	
		たまに	
		ほとんどない	
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	大いに増えている	
		少しずつ増えている	
		あまり増えていない	
		全くいない	
98	職員は、生き生きと働いている	ほぼ全ての職員が	
		職員の2/3くらいが	
		職員の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての家族等が	
		家族等の2/3くらいが	
		家族等の1/3くらいが	
		ほとんどできていない	

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

- ・利用者の笑顔を大切にしています。
 - ・職員は利用者の共同生活者であり、『共に楽しく・共に生きる』を目指しています。
- 又、地域の行事や祭り等に参加し、地域に愛され、信頼され、地域に根付くグループホームを目指し、地域との交流を大切にしています。